

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成17年>>

発行日：平成17年8月24日

<週報> 第33週 (平成17年8月15日～8月21日)

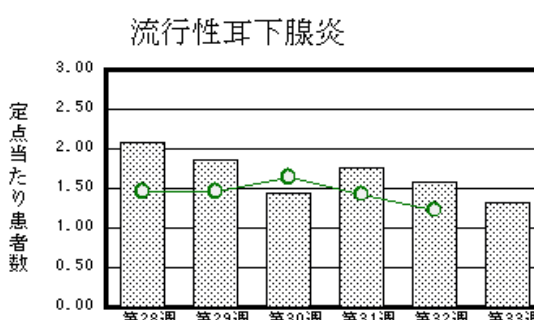
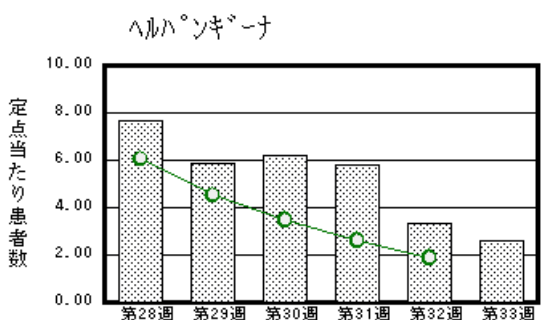
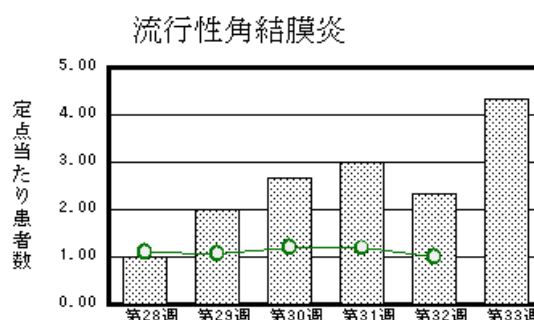
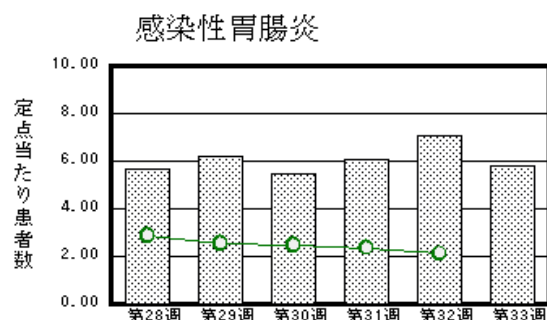
発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎127名(5.77名) 流行性角結膜炎13名(4.33名) ヘルパンギーナ57名(2.59名) 流行性耳下腺炎29名(1.32名) 突発性発疹20名(0.91名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(127名) ヘルパンギーナ(57名) 流行性耳下腺炎(29名) 突発性発疹(20名) 水痘(15名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は127名です。定点当たり患者報告数は減少しました(7.05名 5.77名)。地域別にみると福井地区11.71名、坂井地区6.33名、奥越地区4.50名、丹南地区2.0名、二州地区1.67名、若狭地区1.0名の順となっています。
- 【流行性角結膜炎】報告数は13名です。定点当たり患者報告数は増加しました(2.33名 4.33名)。地域別では丹南地区5.0名、福井地区4.0名となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は57名です。定点当たり患者報告数は減少しました(3.36名 2.59名)。地域別にみると坂井地区5.33名、丹南地区4.20名、奥越地区3.0名、若狭地区1.50名、二州地区1.33名、福井地区1.0名の順となっています。
- 【流行性耳下腺炎】報告数は29名です。定点当たり患者報告数は減少しました(1.59名 1.32名)。地域別にみると若狭地区2.0名、福井地区1.71名、坂井地区・二州地区・若狭地区・丹南地区1.0名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2005年第31週号(8月1日～8月7日)要点

発生動向総覧	<第31週>インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 本年第31週までの累積報告数は1,670例であり、現在までのところ、例年に比べて特に多いとは言えない
病原体情報	A群コクサッキーウイルス6型 2005年/ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	スペインで鶏肉に関連したサルモネラ食中毒で2,000人以上が発病/エチオピアでのマラリア流行/コンゴ共和国(DRC)で原因不明の疾患流行/デング熱流行
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成17年 第33週 平成17年8月15日(月)～平成17年8月21日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(32週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								1 0.03	234 0.05
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	2 0.29						2 0.09		36 (31週)
	咽頭結膜熱	10 1.43	1 0.33			1 0.5		12 0.55	11 0.5	1481 0.49
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	5 0.71	2 0.67			3 1.5	3 0.6	13 0.59	17 0.77	1356 0.45
	感染性胃腸炎	82 11.71	19 6.33	5 1.67	2 1	9 4.5	10 2	127 5.77	155 7.05	6346 2.11
	水痘	4 0.57	2 0.67	2 0.67		1 0.5	6 1.2	15 0.68	28 1.27	1987 0.66
	手足口病	1 0.14				1 0.5		2 0.09	5 0.23	3217 1.07
	伝染性紅斑	1 0.14					1 0.2	2 0.09	1 0.05	556 0.18
	突発性発しん	8 1.14	3 1.00	3 1		2 1	4 0.8	20 0.91	17 0.77	2081 0.69
	百日咳									33 0.01
	風しん									23 0.01
	ヘルパンギー ナ	7 1.00	16 5.33	4 1.33	3 1.5	6 3	21 4.2	57 2.59	74 3.36	5639 1.87
	麻しん(成人麻し んを除く)									14 0.00
	流行性耳下腺 炎	12 1.71	3 1.00	3 1	4 2	2 1	5 1	29 1.32	35 1.59	3699 1.23
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎									19 0.03
	流行性角結膜 炎	8 4.00					5 5	13 4.33	7 2.33	635 1.00
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								1 0.17	5 0.01
	無菌性髄膜炎									32 0.07
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50						1 0.17	2 0.33	106 0.23
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									6 0.01
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第31週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成17年第33週 平成17年8月15日(月)～平成17年8月21日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満	2			4				1						6ヶ月未満		2					
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		8				13			6		1	12ヶ月未満							
1歳		1歳		1		12	5	2		5			13		3	1歳							
2歳		2歳		3	1	20	7			1			13		4	2歳							
3歳		3歳			1	12	3		1				9		9	3歳		1					
4歳		4歳			2	11			1				4		6	4歳							
5歳		5歳		2	5	14							3		2	5歳							
6歳		6歳		2	2	4							2		3	6歳							
7歳		7歳		2		6							2			7歳							
8歳		8歳				3							2			8歳							
9歳		9歳		1		4										9歳					1		
10～14歳		10～14歳			1	13							2		1	10～14歳							
15～19歳		15～19歳				8										15～19歳							
20～29歳		20歳以上			1	8							1			20～29歳		1					
30～39歳																30～39歳		4					
40～49歳																40～49歳							
50～59歳																50～59歳		1					
60～69歳																60～69歳		2					
70～79歳																70歳以上		2					
80歳以上																							
合計		合計	2	12	13	127	15	2	2	20			57		29	合計		13				1	
前期計	1	前期計	0	11	17	155	28	5	1	17			74		35	前期計		7	1			2	
当期間/前期	0	当期間/前期		1.09	0.76	0.82	0.54	0.4	2	1.18	***	***	0.77	***	0.83	当期間/前期	***	1.86	0	***	0.5	***	***
増減数	-1	増減数	2	1	-4	-28	-13	-3	1	3			-17		-6	増減数		6	-1		-1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

